

道徳だより

本校では今年度「希望と勇気、努力と強い意志」「伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度」を中心に道徳教育を推進していきます。学校の教育活動の全てを通して行われるのが道徳教育です。毎週1時間行われる「道徳の時間」では子どもたちが日々の中で体験したことを自分とのかかわりの中で深めていきます。この道徳便りでは、道徳の時間などの子どもたちの様子をお伝えしていきます。

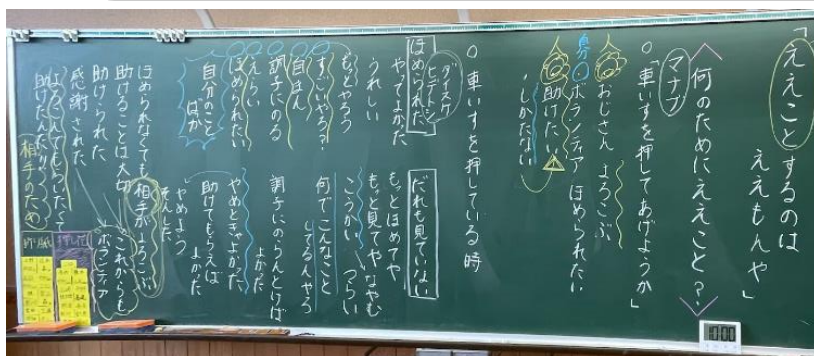
ご家庭でも保護者の方々と子どもたちが一緒に考えたり話し合ったりして、子どもたちの豊かな心の成長に役立てていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

道徳の時間の様子 4年生

「ええことするのは ええもんや！」 親切・思いやり

親切は、誰かに見せたり、褒められたりするだけでなく、困っている人がいたらその人のために役に立ちたいという思いからすることに気づき、進んで親切にしようという態度を養うことをねらいとして学習をしました。

人助けやお手伝いをしたことがある児童はほとんどで、「いいことをすると自分も相手も嬉しい気持ちになる」という意見から、教材文を読み登場人物と同様な経験はないか考えながら学習を進めていきました。周りの人に褒められたいからええことを頑張る登場人物の姿から、「いいことをしているのに誰にも気づいてもらえなかったらどうだろう」と問うと、「褒めてもらいたい」「誰も気づいてくれなかったらやらなきゃよかったと思うことがある」という考えがでてきました。「えっ、でも人助けって褒めてもらうためにするものじゃないよ」という意見から、何のために人助けやお手伝いをするのか考えを深めていくことができました。いいことは、自分が褒められるためだけでなく、困っている相手のことを思ってするものだということに気付くことができました。



子どもたちのノートや発言より

- いいことをすると、相手が喜ぶし、自分もやってよかったという気持ちになる。
- 褒められるためだけでなく、困っている相手のためにお手伝いはするもの。
- これから、学校でゴミを拾ったり、おうちの人のために家事も手伝ったりしていきたい。
- お手伝いをするときは、助けが必要か声をかけ、全部やってあげるのではなく、相手ができることはやらせてあげることも大切だということに気づいた。
- いいことをしてもらったときには、「ありがとう」としっかり伝えたいな。
- 相手のしてほしいことを思いやってくれるのが本当の親切だと思った。